

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 7 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	構造的にリビングや食堂が狭く、窮屈な感じがあり、居心地が良いとは言えない。座る席にも一人ひとりのこだわりや、特徴を生かしたものになっていない。性格や身体的特性、利用者の方同士の交流等を配慮した環境づくりが必要。	リビング、食堂といった共有スペースの配置を考え、ゆったり、ゆっくり、にっこりを実践できるように環境改善を行う。また廊下のサブスペースにも同様のことを考慮して工夫していく方針。	共有スペースの配置換え、今ある家具類で対応できない場合は購入も検討する。不要なものを撤去して広いスペースを作っていく。	12ヶ月
2	49	一人ひとりの希望にそっての戸外への外出が出来ていない。地域に出向いたりも、今までコロナ禍でできていない。	一人ひとりの希望にそっての戸外への外出を計画的に行えるようにケアプランにあげ実行していく。また、歌が好き、買い物をしたい等、同じ趣味・希望を持っている方々がグループで出かけられるようにスタッフの人員配置を考えていく方針。	コロナ禍で今までできていなかったが、スタッフ会で話し合い、今年度は左記の目標を年間を通じて実行していく。	12ヶ月
3	29	コロナ禍で地域資源を活用した交流等がほとんどできていなかった。	地域の保育所や学校、ボランティア、グループ等との交流が出来るようにホームへの訪問等を積極的に受け入れていく方針。	踊りや太鼓、子供神楽、保育園児等の訪問を計画している。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。